



## 平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月13日

上場会社名 スギホールディングス株式会社  
 コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 榎田 直  
 (氏名) 杉浦 昭子

TEL 0566-73-6300

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	72,661	△0.2	2,719	△5.1	3,284	△0.5	1,418	52.3
22年2月期第1四半期	72,829	—	2,865	—	3,300	—	931	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	22.40	—
22年2月期第1四半期	14.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	128,627	75,581	58.8	1,193.68
22年2月期	124,888	74,570	59.7	1,177.71

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 75,581百万円 22年2月期 74,570百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	154,500	3.7	5,900	△5.3	6,700	△6.6	3,500	34.1	55.28
通期	308,500	5.1	11,200	10.4	13,000	5.9	6,750	30.3	106.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	63,330,838株	22年2月期	63,330,838株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	13,119株	22年2月期	13,011株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	63,317,765株	22年2月期第1四半期	63,318,123株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、一部の業種で業績に持ち直しの動きは見られるものの、失業率は依然高水準にあり、個人消費も低調に推移いたしました。

当社グループの属する薬局・ドラッグストア業界におきましては、生活防衛の観点からの低価格志向は継続し、花粉飛散量の減少による鼻炎薬など花粉症関連商品の販売不振、前年の新型インフルエンザ関連商品特需に対する反動などもあり、より一層厳しさを増しております。

このような状況の中で、当社グループとしてはカウンセリング販売に注力し、処方箋調剤及び一般用医薬品における第1類医薬品の販売を強化するなど消費者ニーズへの対応に努めました。

また、出店については、関東エリアに8店舗、中部エリアに5店舗、関西エリアに2店舗、合計15店舗の新規出店を行うとともに、6店舗の退店を実施し、当第1四半期末における総店舗数は734店舗（前期末対比9店舗増）となりました。

以上の結果、売上高726億61百万円（前年同期比0.2%減、1億67百万円減）、営業利益27億19百万円（同5.1%減、1億46百万円減）、経常利益32億84百万円（同0.5%減、16百万円減）、四半期純利益は14億18百万円（同52.3%増、4億87百万円増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①ファーマシー事業

ファーマシー事業は、季節商品である花粉症関連商品やマスク類の売上が大幅に減少したものの、処方箋調剤の売上は伸長いたしました。

期末店舗数は、新規出店等により10店舗増加し520店舗となりました。

以上の結果、売上高は514億22百万円（前年同期比2.1%増、10億68百万円増）、売上総利益は146億85百万円（同0.2%増、26百万円増）、販売費及び一般管理費は119億22百万円（同5.2%増、5億86百万円増）、営業利益は27億63百万円（同16.8%減、5億60百万円減）となりました。

## ②ドラッグ事業

ドラッグ事業は、主力のホームケア商品や食品等の価格競争激化に加え季節商品やマスク類の需要が減少しましたが、ビューティケア商品の販売強化に取り組みました。

期末店舗数は、1店舗退店し214店舗となりました。

以上の結果、売上高は206億19百万円（前年同期比5.7%減、12億45百万円減）、売上総利益は43億41百万円（同1.3%増、55百万円増）、販売費及び一般管理費は40億50百万円（同3.4%減、1億41百万円減）、営業利益は2億91百万円（同208.2%増、1億96百万円増）となりました。

## ③治験事業

治験事業につきましては、受注活動に取り組むとともに経費削減を進め収益確保に努めました。

以上の結果、売上高は6億25百万円（前年同期比0.9%増、5百万円増）、売上総利益は1億41百万円（2億22百万円増）、販売費及び一般管理費は2億39百万円（同18.4%減、54百万円減）、営業損失は98百万円（2億76百万円改善）となりました。

当第1四半期における受注高は6億97百万円、受注残高は23億46百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は1,286億27百万円となり、前期末に比べ37億38百万円増加しました。これは主に現金及び預金、売掛金の増加によるものです。また、負債は前期末に比べ27億27百万円増加し、530億46百万円となりました。純資産の当第1四半期末残高は755億81百万円となり、この結果、自己資本比率は58.8%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により54億51百万円増加、投資活動により60億62百万円減少、財務活動により3億88百万円減少いたしました。この結果、前連結会計年度末と比較して9億99百万円減少し、207億1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は、54億51百万円(前年同期比3.6%増、1億87百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が28億10百万円となり、仕入債務の増加額が39億37百万円等があった一方で、法人税等の支払額が30億3百万円あったこと等によるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は、60億62百万円(同13.5%増、7億19百万円増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出80億円、有形固定資産の取得による支出7億28百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入20億円があったこと等によるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は、3億88百万円(同19.2%増、62百万円増)となりました。これは主に配当金の支払額が3億63百万円あったこと等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行なっておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

### (追加情報)

#### 役員退職慰労引当金

当社及び連結子会社は、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上していましたが、取締役会において、役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打切り支給を決議いたしました。

これにより、当社及び連結子会社は、当該制度廃止日までの在任期間に対応する役員退職慰労金相当額6億51百万円を固定負債の「その他」に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,401	18,900
売掛金	6,474	5,622
有価証券	3,500	7,000
商品	36,069	35,391
その他	7,761	9,139
貸倒引当金	△43	△42
流動資産合計	80,163	76,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,927	17,428
その他(純額)	8,574	8,475
有形固定資産合計	25,502	25,903
無形固定資産		
のれん	399	505
その他	2,473	2,556
無形固定資産合計	2,872	3,062
投資その他の資産		
差入保証金	13,719	13,552
その他	7,039	7,031
貸倒引当金	△670	△671
投資その他の資産合計	20,089	19,912
固定資産合計	48,464	48,877
資産合計	128,627	124,888

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,553	30,610
未払法人税等	1,220	2,604
賞与引当金	1,114	297
その他の引当金	10	4
その他	11,453	12,089
流動負債合計	48,352	45,605
固定負債		
退職給付引当金	2,040	1,937
役員退職慰労引当金	—	681
その他	2,653	2,094
固定負債合計	4,693	4,712
負債合計	53,046	50,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	35,482	34,444
自己株式	△33	△32
株主資本合計	75,516	74,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	91
評価・換算差額等合計	64	91
純資産合計	75,581	74,570
負債純資産合計	128,627	124,888

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	72,829	72,661
売上原価	53,964	53,493
売上総利益	18,864	19,168
販売費及び一般管理費	15,999	16,449
営業利益	2,865	2,719
営業外収益		
受取賃貸料	313	314
受取手数料	166	166
その他	341	352
営業外収益合計	821	833
営業外費用		
賃貸収入原価	248	248
その他	136	19
営業外費用合計	385	267
経常利益	3,300	3,284
特別損失		
減損損失	120	457
商品評価損	364	—
その他	46	16
特別損失合計	531	473
税金等調整前四半期純利益	2,769	2,810
法人税、住民税及び事業税	1,883	1,384
法人税等調整額	△45	7
法人税等合計	1,838	1,392
四半期純利益	931	1,418

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,769	2,810
減価償却費	695	834
減損損失	120	457
賞与引当金の増減額(△は減少)	696	816
売上債権の増減額(△は増加)	△1,602	△852
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,023	△685
仕入債務の増減額(△は減少)	5,454	3,937
その他	779	596
小計	7,889	7,915
利息及び配当金の受取額	22	10
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△2,646	△3,003
法人税等の還付額	—	530
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,264</b>	<b>5,451</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,000	△8,000
定期預金の払戻による収入	—	2,000
有価証券の償還による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△1,308	△728
無形固定資産の取得による支出	△646	△42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,000	—
差入保証金の差入による支出	△99	△116
その他	△289	△174
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,343</b>	<b>△6,062</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△316	△363
その他	△9	△24
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△325</b>	<b>△388</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△405	△999
現金及び現金同等物の期首残高	23,757	21,700
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	467	—
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>23,820</b>	<b>20,701</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。